

平成22年度

財団法人目黒区芸術文化振興財団  
事業報告書

自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

## はじめに

当財団は、平成21年度から5年間、目黒区文化ホール及び目黒区美術館の管理運営を担う指定管理者として指定を受け2年が経過しました。この間、景気低迷の影響を受け補助金収入が減少するなど、厳しい財政状況の中でこれまで以上の住民サービスの向上と効率的な財団運営に努めてきました。

また、「めぐろ芸術文化振興プラン」に位置付けられた重点事業の取り組みを、区と一体となって目黒区内の様々な施設で展開しました。さらに、平成23年4月に公益財団法人に移行する準備を財団が一丸となって取り組みました。

「目黒区文化ホール」では、自主事業41事業、区の受託事業4事業を実施しました。

特に、自主事業の中でも、当ホールで初めてのレクチャー付き文楽の公演や難病を抱えたピアニストによるコンサートは新たな顧客の拡大が図られるなど大変意義深い事業でした。

また、次代を担う子どもたちを対象とした「パーシモンパレットプログラム」や「アーティスト派遣プログラム」の実施など、教育普及・学習事業にも力を注ぎました。

さらに、クラシックコンサートや海外バレエ、文楽、子育て支援コンサートなど、音楽・舞踊・古典芸能など幅広いジャンルにわたるプログラムを展開しました。その他、地域の芸術文化活動団体の支援も行いながら「文化縁」の拡大に努めました。

次に、受託事業では、目黒ゆかりのアーティストによるコンサートを実施し、特に、「安楽真理子ハーブ体験ワークショップ」では、ハーブ楽器の体験・演奏指導など子どもから大人まで大変好評でした。また、「めぐろアートウィーク」では目黒区美術館と連携した旧前田侯爵邸洋館でのサロンコンサートが地域の方々に大変喜ばれました。

一方、貸館事業にも力を注ぎ、窓口サービスの向上を始め、始業就業の日常点検や定期保守点検を実施するなど、利用者に安全で安心な施設を提供しました。

「目黒区美術館」の事業運営にあたっては、展覧会事業では自主企画展4本、受託事業として所蔵作品展及び「めぐろの子どもたち展」計6本の展覧会を開催しました。

年間入館者数は合計58,724人となり、目標数の50,000人を8,700余名上回りました。しかし、無料入館者(子どもたち展を含む)の割合は70%近くになり、展覧会事業収支の面からは大きなマイナス要因となりました。教育普及事業等では、ワークショップのほか、展覧会毎にギャラリーツアー、講演会等を開催しました。

受託事業では、作品保管事業として、所蔵作品の修復等を実施したほか、教育委員会の依頼に基づき、教育委員会が購入等する美術作品の候補作品を調査・報告しました。

区民ギャラリーの貸出については、メンテナンスに要する期間等を除きほぼ100%の利用率となり、収益事業については、入館者の増加に伴い、ラウンジ利用や各展覧会の関連書籍やグッズの売り上げも増収となりました。その他、地域の芸術文化振興の一つとして、区展及び区内各美術団体の展覧会の開催に協力しました。

最後に、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、文化ホールでは第68回全国舞踊コンクール等の中止や美術館での春のワークショップが開催中止となりました。今後も、計画停電等により使用料収入や入場料収入等、財団の運営に様々な影響が懸念されますが、財団の使命である芸術文化の振興がとどまることが無いよう、より一層効率的な運営に努めてまいります。

# 1 事業報告

## 《目黒区文化ホール》

### (1) 自主事業

#### ①鑑賞事業(寄附行為第4条第2号)

多様な芸術文化の紹介を通じ、区民に優れた芸術文化に身近に接する機会を提供した。

#### (ア) 主催事業(9 事業=12 公演・1ワークショップ)

No.	月日	公演名	会場	内容・出演者等	入場者等	料金等
1	5月15日 (土)	ゆったりライブ vol.7 Saigenji サイゲンジ・ライブ	小ホール	ライブシリーズ第7弾として、人気のシンガーソングライター、サイゲンジのライブ。	154人	全指定席 3,000円
2 ①	6月30日 (水)	目黒区総合庁舎 ロビーコンサート vol.13	目黒区 総合 庁舎エ ントラ ンス	男性3人のハーモニカ・ライナーズによる総合庁舎エントランスでの無料コンサート	100人	無料
2 ②	11月11日 (木)	目黒区総合庁舎 ロビーコンサート Vol.14		北川翔のバラライカによる無料コンサート	100人	
3 ①	8月21日 (土)	マリンバ&パーカッション デュオ・コンサート	大 ホール	クリストファー・ハーディー&新谷祥子によるマリンバ&パーカッションコンサート	260人	大人1,500円 子ども500円
3 ②	8月21日 (土)	マリンバ&パーカッション ワークショップ 《ワークショップ》		本公演の前に、楽器に触れる機会を目的としたワークショップ	30人 (定員)	子ども500円
4	9月4日 (土)	ゆったりライブ vol.8 naomi & goro Afternoon Bossa Nova Live	小ホール	ライブシリーズ第8弾として、人気のデュオ、naomi&goroのライブ。	185人	全指定席 3,000円

5 ①	9月18日 (土)	向田邦子原作 「びっくり箱」	大 ホール	目黒区ゆかりである向 田邦子原作の演劇の 上演	333人	全指定席 5,800円
5 ②	9月19日 (日)				269人 計602人	
6 ①	9月21日 (火)	文楽 レクチャーと公演	小 ホール	パーシモンホール初の 日本伝統芸能の人形 劇「文楽」の公演	168人	全指定席 3,500円
6 ②					166人 計334人	
7	12月12日 (日)	チャマメのクリスマス	中目黒 GT プラザ ホール	中目黒 GT プラザホ ールを利用したクリスマ ス恒例のコンサート。 牧田ゆき(アコーディオ ン)他	83人	全自由席 2,000円
8	平成23年 1月6日 (木)	新春初笑い 桂ざこば・春風亭小朝 東西落語名人会	大 ホール	新春恒例の初笑い寄 席	750人	全指定席 S席4,000円 A席3,000円
9	平成23年 1月8日 (土)	ニューイヤージャズ 2011	大 ホール	熱帯 JAZZ 楽団、マリ ーンによる JAZZ コンサ ート	900人	全指定席 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円

(入場者数 3,498人)

(イ) 共催事業(7事業=14公演)

No.	月日	公演名	会場	内容・出演者等	入場者等	料金等
1	4月21日 (火)	原田知世 LIVE TOUR eyja 東京公演	大 ホール	女優でもある原田知世 の全国ツアー最終公 演	1,019人	全指定席 6,000円
2 ①	5月1日 (土)	劇団 Be ポンキッキ	大 ホール	BSフジテレビで放送 中の子供向け番組「Be ポンキッキ」の公演	918人	全指定席 S席5,000円 A席4,000円

2 ②	5月2日 (日)	劇団 Be ポンキッキ	大 ホール	BSフジテレビで放送 中の子供向け番組「Be ポンキッキ」の公演	929人	全指定席 S席 5,000円 A席 4,000円
2 ③	5月2日 (日)				587人	
2 ④	5月3日 (月祝)				990人	
2 ⑤	5月4日 (火祝)				860人	
2 ⑥	5月4日 (火祝)				688人	
2 ⑦	5月5日 (水祝)				959人	
2 ⑧	5月5日 (水祝)				547人	
3	7月25日 (日)	世界名作バレエ劇場 「シンデレラ」	大 ホール	名門キエフ・バレエ団 によるバレエ公演	738人	全指定席 5,500円
4	7月30日 (金)	楽太郎改メ六代目 三遊亭圓楽 襲名披露特選落語会	大 ホール	夏恒例の納涼寄席。 今年三遊亭圓楽襲 名披露公演	1,164人	全指定席 S席 4,500円 A席 4,000円
5	11月6日 (土)	キエフ・オペラ 「トゥーランドット」	大 ホール	ウクライナ国立キエフ・ オペラ団による 引越し公演	521人	全指定席 S席 14,000円 A席 11,000円 B席 7,000円
6	12月18日 (土)	アン・サリー コンサート 2010	大 ホール	歌手、医師、そして 2 児の母という 3 つの 顔を持つジャズ・ヴォ ーカリストによる公演 (開場時、ホワイエにて ミニライブも開催)	700人	全指定席 4,500円

7	11月7日 (日)	プリフィカシオン ゴメス カサレス ピアノコンサート	小 ホール	日本音楽愛好会イマ ージュ主催のスペイン の新星ピアニストによ るコンサート	185人	全自由席 2,800円
---	--------------	----------------------------------	----------	---	------	----------------

(入場者数 10,805人)

## ②地域の芸術文化・支援事業(寄附行為第4条第3号・4号)

多様な芸術文化活動団体を支援するとともに各団体と連携・協力関係を築きながら、「文化縁」を拡大していくことに努めた。

### (ア)主催事業(7事業=15公演)

No.	月日	公演名	会場	内容・出演者等	入場者等	料金等
1 ①	7月5日 (月)	マンスリーLIVE!!@ プラザ 第1回 「mimosa」 (クラシカルポップ ユニット)	めぐろ 区民 キャン パス	パーシモンホールの利 用者・鑑賞者を増やす ためのきっかけ作りとし て、めぐろ区民キャン パスプラザ(B1F)での 公演	80人	無料
1 ②	8月2日 (月)	マンスリーLIVE!!@ プラザ 第2回 「櫻田素子」 (バリ・ガムラン)			80人	
1 ③	9月6日 (月)	マンスリーLIVE!!@ プラザ 第3回 「太田久遠」 (二胡)			80人	
1 ④	10月4日 (月)	マンスリーLIVE!!@ プラザ 第4回 「to R mansion」 (パフォーマンユニット)			80人	
1 ⑤	11月8日 (月)	マンスリーLIVE!!@ プラザ 第5回 「ホンヤミカコ」 (オカリナ)			100人	
1 ⑥	12月6日 (月)	マンスリーLIVE!!@ プラザ 第6回 「GABEZ」 (ダンス&コント・パフォーマ ンス)			80人	

2	9月11日 (土)	0歳からのパーシモン 子育て支援コンサート 「音楽のおくりもの」 (2回公演)	小 ホール	アンサンブル・ディベ ルターズによる未就学 児と親を対象としたクラ シック音楽中心のコン サート (ホールボランティアの 参加あり)	①198人 ②199人 計397人	全指定席 大人1,500円 子ども500円 (3歳以上)
3	10月1日 (金)	めぐろの日コンサート	大 ホール	抽選により区民及び町 会・自治会等を招待し た「区民の日」のアン サンブル・フォルテメン バーによる弦楽アンサ ンブルコンサート	693人	無料
4 ①	10月2日 (土)	「未来の音」シリーズ 第11回 木村大 ギター・リサイタル	小 ホール	若手演奏家を区民に 紹介し、育成する事業	166人	全指定席 1回券 2,500円 3回セット券 6,000円
4 ②	11月3日 (水・祝)	第12回 田村響 ピアノ・リサイタル			126人	
4 ③	12月18日 (土)	第13回 正戸里佳 ヴァイオリン・リサイタル			101人	
5	12月4日 (土)	フレッシュ名曲コンサートの プレ・コンサート アフターヌーン コンサート	小 ホール	平成23年3月開催予 定のフレッシュ名曲コ ンサート出演のフルー ト押部朋子によるフル ートリサイタル  【(財)東京都歴史文化財 団:共同主催事業】	173人	全指定席 500円
6	平成23年 1月23日 (日)	TONICA ピアノコンサート	小 ホール	難病とともに生きるピア ノコンサート	175人	全指定席 1,000円

7	平成 23 年 3 月 6 日 (日)	フレッシュ 名曲コンサート めぐろパーシモンホール 春のコンサート	大 ホール	第 7 回東京音楽コンク ール木管部門第 2 位 の新進フルート演奏 家・押部朋子、ハープ 吉野直子をソリストに、 指揮下野竜也を迎え ての新日本フィルハー モニー交響楽団による コンサート  【(財)東京都歴史文化財 団:共同主催事業】	824 人	全指定席 S席 3,500 円 A席 2,500 円 B席 1,500 円
---	---------------------------	--	----------	--	-------	--

(入場者数 3,155 人)

(イ) 共催事業(10事業=12公演 ※1事業中止)

No.	月日	公演名	会場	内容・出演者等	入場者等	料金等
1	4 月 11 日 (日)	目黒区 東山オーケストラ 第 16 回定期演奏会	大 ホール	目黒区立東山小学校 特設管弦楽クラブと、 その OB・OG によるオー ケストラとの共演	850 人	無料
2 ①	5 月 30 日 (日)	目黒区民交響楽団 第 71 回定期演奏会	大 ホール	目黒区民交響楽団に よる演奏会 (小・中・高生等の招待 あり)	1,039 人	全自由席 前売券 800 円 当日券 1,000 円
2 ②	11 月 28 日 (日)	目黒区民交響楽団 第 72 回定期演奏会			1,025 人	全指定席 1,000 円
3	6 月 12 日 (土)	2010 年第 67 回 全国舞踊コンクール 上位入賞者による 第 27 回アンコール公演	大 ホール	主催:東京新聞文化 事業部	650 人	全自由席 前売券 2,500 円 当日券 2,800 円
4	7 月 11 日 (日)	第 8 回パーシモン ほたる祭り	大・小ホ ール & めぐろ 区民 キャン パス・ 芝生 広場	周辺の小・中・高・大学 や町会、都立大学商 店街連合会等の地域 団体で構成された実 行委員会主催の地域 イベント(器楽演奏、ダ ンス、模擬店等)	来場者 9,000 人 (ホテル 観賞は 3,000 人)	無料



5 ①	7月2日 (金)	伝統文化「狂言」に 親しむ	中目黒 GT プラザ ホール	(財)北野生涯教育振 興会による伝統文化 公演	110人	1,000円 (2回通し)
5 ②	7月9日 (金)				90人 計200人	
6	10月3日 (日)	めぐろ童謡 コンサート2010	大 ホール	童謡の里めぐろ保存 会主催の第九中学校 吹奏楽部等の区民出 演による童謡・合唱等 のコンサート (中学生以下無料・無 料券配付)	1,000人	全自由席 前売券 800円 当日券 1,000円
7	11月19日 (金)	目黒ユネスコ 平和コンサート2010 シエナ・プラス5	大 ホール	目黒ユネスコ協会によ るピアノコンサート (小中学生先着200人 招待)	650人	全自由席 一般 3,500円 学生 2,000円
8	12月3日 (金)	中目黒GT クラシックコンサート	中目黒 GT プラザ ホール	中目黒GT全体管理 組合主催によるアマー ビレ・ピアノトリオによ るコンサート	150人	全自由席 一般 大人2,000円 子供1,000円
9	2月14日 (日)	東京インターアーツ 目黒 バレンタイン コンサートNo.8	中目黒 GT プラザ ホール	日本の箏、尺八を中心 に他の楽器を交えて のコンサート。 東京インターアーツ は、日本文化の紹介と 親善を目的として世界 各国で公演を行って いる団体	昼115人 夜60人 計175人	全自由席 2,500円
10	3月20日 (日)	めぐろクラシック セレクション 目黒区クラシック 音楽家協会コンサート	大 ホール	クラシック音楽の普及 を通じて地域文化振 興と区民のための豊か なまちづくりに寄与す ることを目的とする目 黒区にゆかりのある音 楽家のコンサート	508人	全自由席 一般2,000円 学生1,000円

11	3月21日 (月) ～ 4月4日 (月)	第68回2011年 全国舞踊コンクール (予選・決選)	大 ホール	主催:東京新聞 文化事業部	震災等の影響により 中止
----	----------------------------------	-----------------------------------	----------	------------------	-----------------

(入場者数 15,247人)

### ③学習・練習事業(寄附行為第4条第3号)

音楽・演劇・ダンス・オペラなど様々なジャンルについて入門・啓発・普及・レベルアップなどの基礎的な学習や練習を支援し、芸術文化活動の発展に寄与していくことを目指した。

(ア)主催事業(8事業=13公演・4ワークショップ 注:No.欄にアルファベット表示)

No.	月日	公演名	会場	内容・出演者等	入場者等	料金等
1 ①	5月22・ 23日 (土・日)	これがオペラだVI 第1回 「椿姫」	小 ホール	オペラ入門企画、解説 とピアノ伴奏で組み立 てたオペラのハイライト 公演 第3回の魔笛公演に は、合唱に目黒区民 が出演した。  【独立行政法人日本芸 術文化振興会:芸術文 化振興基金助成事業】	22日 189人 23日 184人 計373人	全自由席 1回券 3,500円 3回セット券 9,000円
1 ②	6月26・ 27日 (土・日)	これがオペラだVI 第2回 「蝶々夫人」			26日 145人 27日 156人 計301人	
1 ③	7月17・ 18日 (土・日)	これがオペラだVI 第3回 「魔笛」			17日 188人 18日 190人 計378人	
2 ① ～ ⑮	5月6日 (木) ～ 23年2月	めぐろパーシモンホール アーティスト派遣 プログラム  【別掲】	各小中 学校	区内小中学校等への アーティスト(声楽・弦 楽)派遣 子どもたちとの交流等 を15校で実施  【(財)日本音楽財団:音 楽助成事業、公益財団 法人北野生涯教育振 興会協力】	15校	無料

3	6月20日 (日)	パーシモン弦楽 アンサンブル 第1回演奏会	大 ホール	将来のジュニア弦楽アンサンブルを視野に入れながら育成していく事業で、平成21年8月からプロに指導を受けた弦楽アンサンブルの演奏会  対象者:小学4年生～21歳程度 (ホールボランティアの参加あり)	参加者 25人  入場者 153人	全自由席 500円
4 A	6月20日 (日) ワークショップ ・ 7月27日 (火) ～ 7月31日 (土) 発表会	パーシモン・パレット プログラム2010  「演劇」コース  《ワークショップ》 &発表会	小 ホール	「演劇」コースの練習及び発表会  対象者: 中学生、高校生 (ホールボランティアの参加あり)  【公益財団法人北野生涯教育振興会:協賛事業】	参加者 前半 31人 後半 22人 計53人  入場者 65人	参加費 前半 1,000円 後半 2,000円  発表会 全自由席 300円
5 B	8月8日 (日) ～ 平成23年 6月19日 (日)  (実施中)	パーシモン 弦楽アンサンブル	リハー サル室 ほか	将来のジュニア弦楽アンサンブルを視野に入れながら育成していく事業 対象者:小学4年生～21歳程度 (ホールボランティアの参加あり)	参加者 25人	参加費 10,000円
6 C	8月11日 (水) ～ 8月15日 (日) 5日間	パーシモン・パレットプログラム2010  コンテンポラリー・ダンスコース  《ワークショップ》 &発表会	小 ホール	「コンテンポラリーダンス」コースの練習及びミニ発表会  対象者:高校生以上の学生  (ホールボランティアの参加あり)  【公益財団法人北野生涯教育振興会:協賛事業】	参加者 9人  入場者 19人	参加費 2,500円  発表会 全自由席 300円

7 D	8月25日 (水) ～ 8月29日 (日)	パーシモン・パレットプロ グラム 2010  楽器コース  《ワークショップ》 &発表会	小 ホール	廃品になるモノ等を使 って楽器を作りなが ら、バリの楽器ガムラン を使ったワークショップ と練習・発表会  対象者:小学生  (ホールボランティアの 参加あり)  【公益財団法人北野生 涯教育振興会:協賛事 業】	参加者 18人  入場者 48人	参加費 2,000円  発表会 全自由席 300円
8 ①	平成23年 1月15日 (土)	楽器のひみつⅦ  第1回 佐藤俊介:ヴァイオリン 今昔物語	小 ホール	様々な楽器をテーマ に、出演者による解説 と演奏(全3回)	162人	全指定席 1回券 3,000円 3回セット券 7,500円
8 ②	平成23年 2月12日 (土)	楽器のひみつⅦ  第2回 雲井雅人サクソ四重奏 団:サクソフーン、独奏 から四重奏まで			187人	
8 ③	平成23年 3月12日 (土)	楽器のひみつⅦ  第3回 川崎雅夫・川崎洋介 ヴァイオリンとヴィオラ、 その魅力			122人	

(入場者数 1,808 人、参加者数 130 人)

【別掲】めぐろパーシモンホール アーティスト派遣プログラムの内訳

No.	月日	施設名	会場	聴衆者	出演者		
①	5月6日 (木)	不動小学校	音楽室	6年生 80人	ソプラノ 竹内直美	テノール 安保克則	ピアノ 福崎由香
②	5月11日 (火)	鳥森小学校		5年生 47人	ヴァイオリン 川田知子	ピアノ 田中麻紀	

③	6月24日 (木)	田道小学校	音楽室	5年生 51人	ソプラノ 森岡紘子	バリトン 原田勇雄	ピアノ 久住綾子
④	6月24日 (木)	東根小学校 (2回公演)		5年生 108人	ヴァイオリン 崔文珠	ピアノ 小森谷裕子	
⑤	7月13日 (火)	中根小学校		5年生 64人	ソプラノ 田口智子	バリトン 折河宏治	ピアノ 大野真由子
⑥	7月15日 (木)	碑小学校		4年生 89人	チェロ 倉田澄子	ピアノ 和田晶子	
⑦	9月16日 (木)	第七中学校		2年生 70人	ソプラノ 荒牧小百合	バリトン 青山貴	ピアノ 大野真由子
⑧	9月30日 (木)	下目黒小学校		5年生 52人	ソプラノ 奥村喜美子	バリトン 原田圭	ピアノ 篠宮久徳
⑨	12月22日 (水)	緑ヶ丘小学校		5年生 32人	ヴァイオリン 漆原朝子	ピアノ 林絵里	
⑩	平成23年 1月18日 (火)	菅刈小学校		5年生 50人	チェロ 横坂源	ピアノ 今西泰彦	
⑪	平成23年 1月28日 (金)	向原小学校		4年生 55人	ソプラノ 湯浅桃子	バリトン 原田圭	ピアノ 小松紀子
⑫	平成23年 1月28日 (金)	上目黒小学校		6年生 56人	ソプラノ 齋藤青麗	バリトン 大山大輔	ピアノ 松浦朋子
⑬	平成23年 2月9日 (水)	第九中学校		1年生 75人	ソプラノ 荒牧小百合	テノール 望月哲也	ピアノ 大野真由子
⑭	平成23年 2月22日 (火)	月光原小学校		6年生 47人	ソプラノ 西川あや子	テノール 志田雄啓	ピアノ 平塚洋子
⑮	平成23年 2月22日 (火)	五本木小学校		5,6年生 66人	ヴァイオリン 崔文珠	ピアノ 大須賀恵里	

(聴衆者 942人)

【自主事業小計 35,585人】

#### ④芸術文化情報の収集と発信(寄付行為第4条第3項)

地域の芸術文化活動を活発化させるため、情報誌の発行やホームページ及び情報コーナーを活用しながら他施設の公演情報の紹介、関連書籍の閲覧など芸術文化関連情報の提供に努めた。

##### (ア)情報誌「アートレター」の発行

	発行日	発行部数	新聞折込(部数)
VOL.26 夏号	平成 22 年 7 月 1 日	100,000 部	あり(90,000 部)
VOL.27 秋号	平成 22 年 10 月 1 日	100,000 部	あり(90,000 部)
VOL.28 冬号	平成 23 年 1 月 5 日	100,000 部	あり(90,000 部)
VOL.29 春号	平成 23 年 3 月 30 日	100,000 部	あり(90,000 部)

##### (イ)ホームページアクセス数

	平成 22 年度	前年度
年間アクセス数(ページビュー)	845, 930	771, 573
新規訪問の割合	57. 68%	62. 46%

##### (ウ)総合案内・情報コーナー利用者数

	合 計	1 日当たり利用者数 (22 年度)	1 日当たり利用者数 (21 年度)
総合案内	22,137	61.8 人	67.7 人
情報コーナー	2,175	6.1 人	7.0 人
合 計	24,312	67.9 人	74.8 人

##### (エ)広報事業

事業名	有料広告	掲載誌・新聞・ 放送等
これがオペラだⅦ、楽器のひみつⅦ フレッシュ名曲コンサート、未来の音 ニューイヤージャズ	朝日新聞	
フレッシュ名曲コンサート	読売・東京・産経新聞	
安楽真理子ハープリサイタル 楽器のひみつⅦ、これがオペラだⅦ サイゲンジ、新春落語、米良美一	毎日新聞	

びっくり箱、フレッシュ名曲コンサート	毎日新聞	
フレッシュ名曲コンサート、楽器のひみつⅦ 子育て応援コンサート、これがオペラだⅦ アートウィーク、ニューイヤーJAZZ	日経レディ	
フレッシュ名曲コンサート、びっくり箱	東急線沿線 (交通広告)	
これがオペラだⅦ、チャマメのクリスマス マリンバ&パーカッションデュオコンサート		毎日新聞
チャマメのクリスマス		読売新聞
劇団 Be ポンキッキ		フジテレビ BS フジ
フレッシュ名曲コンサート、楽器のひみつⅦ Naomi & goro、未来の音、ニューイヤーJAZZ		イントシケイト
サイゲンジ		apple

## ⑤その他

### (ア)各委員会の運営

文化ホールにおいては、効果的に事業を推進していくため、文化ホール企画委員会および協賛対策委員会を設置している。

企画委員会は、外部委員を構成員とし、当該年度の事業や実施した事業について専門的・客観的な立場から指導・助言をしてもらうため開催している。

当該年度も事業計画の検討や重要な事業について助言等をもらい円滑な事業運営に反映できた。

また、協賛対策委員会では、景気低迷の影響を受け、辞退が相次ぐ賛助会員の対策を検討した。対策として新たな賛助会員（法人・個人）を開拓し、訪問回数を重ねるなど、賛助会員や協賛金維持に努めた。

### (イ)ホールボランティアの育成

地域を支え、地域から支えられるホールを目指して平成21年度からホールボランティアの育成を開始した。現在13名が登録し子供たちを対象としたワークショップの受付や公演時の客席案内、チケットもぎり等の業務を行っている。

当該年度は、先進地区のボランティア活動を学ぶため、他地区で行われた研修会へ2名参加した。

### (ウ)地域と連携した顧客サービスとポスターボランティアの育成

地域の活性化やチケット販売促進さらに将来のポスターボランティアを視野に入れながら、当該ホールと商店街が連携した顧客サービスを平成21年度より開始し、当該年度は11店舗拡大した。

この制度はホールチケットを持参すれば各店舗がサービスの特典を与えるもので、チラシ・ポスターの掲示にも協力する制度で現在21店舗が協力することとなった。

## (2) 受託事業(寄附行為第4条第4号)

### ①芸術文化事業

#### (ア)受託事業

##### ア 目黒区文化祭

目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るため、各芸術文化団体の活動を支援すると共に活動団体の連携・協力を深めるため、目黒区文化団体連合会及び目黒区教育委員会と協力をして、目黒区文化祭を実施した。

##### イ めぐろアートウィーク (1公演中止、1公演延期)

めぐろアートウィークは、音楽などの専門家や愛好者が様々な芸術文化活動を展開している目黒区の特徴を生かして、多くの区民が芸術文化に触れ、親しんでもらうためのイベントである。

当財団は、めぐろ芸術文化振興プランに基づき、目黒区教育委員会と協力・連携して、めぐろアートウィークを実施した。

No.	月日	公演名	会場	内容・出演者等	入場者等	料金等
1	4月・10月～11月	目黒区文化祭	大・小ホール 美術館区民ギャラリー 区民センターホール ほか	目黒区文化団体連合会・目黒区教育委員会との共同主催による区民の発表会 (日本舞踊大会、合唱祭、民踊まつり、華茶道展、邦楽大会、郷土資料展、洋舞祭、吟剣詩舞道大会、自主グループ発表会・展示、ユネスコ美術展、演劇祭、謡曲大会、民謡大会、音楽祭の15公演)	入場者 7,063人	無料
2 ①	平成23年 2月20日 (日)	めぐろアートウィーク 山口研生+松実健太 ピアノとヴィオラの コンサート	大ホール	目黒区ゆかりのピアニスト山口研生のコンサート	588人	全指定席一般 1,000円 一般ペア 1,500円 小中学生 500円
2 ②		めぐろアートウィーク パーシモンホール バックステージツアー	ホール内	大ホールの客席から舞台裏まで専門技術スタッフの説明を受けながら見学するツアー	参加者 16名	無料



2 ③	平成23年 3月5日 (土)	めぐろアートウィーク 目黒建築めぐり塾Ⅳ 旧前田侯爵邸コース 洋館サロンコンサート	旧 前田 侯爵 邸 洋館	建築めぐり塾の旧前田 侯爵邸コースにおい て、松本和将(ピアノ)、 瀧村依里(ヴァイオリ ン)、金子鈴太郎(チェ ロ)の洋館サロンコンサ ート	80人	無料
中止	平成23年 3月19日 (土)	めぐろアートウィーク 第3回 アーツ・ステージ サポートコンサート	小 ホール	区内で意欲的に音楽 活動を行っている、行 っていかうとする若い人 たちによるコンサート	震災等の影響により 中止	
延期	平成23年 3月20日 (日)	めぐろアートウィーク 「リコーダーアンサン ブルに挑戦!!」 &発表会	中目 黒GT プラザ ホール  大・小 ホール	公募で集まった人によ るリコーダーアンサン ブルの練習(講師:松浦孝 成)と発表会	震災等の影響により、 平成23年8月7日に 延期	

(入場者数 7,731 人、参加者数 16 人)

(イ) 指定管理者指定事業(寄附行為第4条第5号)

当財団は、目黒区教育委員会との協定に基づき芸術文化振興事業を実施することとしている。  
平成22年度は、次の2事業(関連ワークショップを含む)を実施した。

No.	月日	公演名	会場	内容・出演者等	入場者等	料金等
1	6月5日 (土)	米良美一 リサイタル	大 ホール	目黒ゆかりであるカウ ンターテナーの第一人 者、米良美一のリサイ タル	478人	全指定席 3,500円
2 ①	7月10 日 (土)	安楽真理子の ハープ体験コンサ ート 《ワークショップ》	小 ホール	目黒ゆかりのハーピ ストである安楽真理子 によるハープ体験を行 いながらの、レクチャー &コンサート  (ホールボランティアの 参加あり)	123人	全指定席 2,000円  セット券 4,000円
2 ②	7月24 日 (土)	安楽真理子 ハープリサイタル		スペシャルゲストに、目 黒ゆかりのハーピスト である井上久美子が 出演した、安楽真理子 のリサイタル		190人

(入場者数791人)

【受託事業小計 8,538人】

【総合計 44,123人】

## ②施設貸与・管理事業(寄附行為第4条第5号)

### (ア)施設の保守管理等

職員による日々の巡回点検や始業就業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検を実施し、安心・安全で使いやすい施設・設備の提供を行った。

#### ア めぐるパーシモンホール

- ・舞台機構保守点検 《大ホール年4回4日間、小ホール年4回3日間》
- ・舞台照明保守点検 《大ホール年2回4日間、小ホール年2回3日間》
- ・開閉天井照明保守点検 《年4回1日間》
- ・音響保守点検 《大ホール年2回2日間、小ホール年2回2日間》
- ・客席椅子保守点検 《大ホール年1回2日間、小ホール年1回1日間》
- ・エレベーター・リフト保守点検 《大小ホール月1回1日間》
- ・スタインウェイピアノ保守点検 《大小ホール分解点検年1回、調律点検年1回》
- ・ヤマハピアノ保守点検 《大小ホール諸室分解点検年1回、調律点検年1回》

#### イ 中目黒GTプラザホール

- ・AV保守点検《年2回1日間》
- ・音響舞台保守点検《年2回1日間》
- ・照明保守点検《年1回2日間》
- ・ヤマハピアノ保守点検《分解点検年1回、調律点検年1回》

### (イ)貸館サービスについて

#### ア 貸館利用者へのサービス

- ・ 親子参加型や子育て支援事業について観客要望に応え、バギー預かりサービスを無料で実施した。また、乳児への授乳スペースや気分が悪くなった人が休める場所が当ホールには無いため、一時的に職員控室を提供し、大変感謝されている。
- ・ 宅配便による荷物の受付や同様な内容が繰り返される催し物については、来館せずに電話やFAXで事前打合せができるサービスも実施した。
- ・ 貸館利用者の公演内容や芸術文化活動団体の活動内容を紹介するため、プラザ1階掲示板を活用してチラシやポスターを掲示し、多くの区民や地域に情報提供を行った。
- ・ ビュッフェ利用者の要望や苦情に対応するため、ビュッフェ業者と定期的に打ち合わせ会を実施するとともに、公演内容やアーティストにちなんだ特別メニューを開始した。
- ・ 利用者等の要望については、迅速な対応と情報を共有化するため、舞台及び受付窓口総合案内の連絡会を定例化した。
- ・ この度の震災を契機として、公演前のアナウンス内容の改善や危機管理マニュアルの改善を図った。

#### イ 窓口サービス

利用毎に利用者アンケートを実施し、利用者の立場や目線による接遇を窓口サービスの基本に据え、利用者には、いつも親切・丁寧・明るい窓口対応を心掛けた。

苦情等についても改善要望のあった接遇面等についてはOJTを含め職員研修を実施

する等、絶えず利用者の満足が得られる窓口サービスの向上に努めた。

【顧客満足度による評価】

22年度(392件)	前年度(520件)
4.50	4.45

※施設利用者に対して、「施設利用」の内容、スタッフの応対、施設及び設備の快適性等について、「良い」・「やや良い」・「普通」・「やや悪い」・「悪い」の5段階評価(5点満点)をしていただき、回答を集計している。

### (3)その他

#### ①学校の受け入れ

区立中学校の職場訪問、職場体験に協力した。内容としては、公演の仕込み・バラシの手伝いや受付窓口での事務作業が中心であるが、財団主催事業の日程に該当した中学校については、会場設営から本番、片付けの手伝いをしてもらった。

No	期間	学校名
1	6月29日(火)～7月1日(木) 《3日間》	区立第七中学校 3名
2	11月30日(火)～12月2日(木) 《3日間》	区立第十中学校 2名
3	1月17日(月)～1月18日(火) 《2日間》	区立第八中学校 3名
4	1月19日(水)～1月21日(金) 《3日間》	区立中央中学校 2名

#### ②視察の受け入れ

中国・韓国をはじめ、他自治体等の視察(計4団体)に積極的に協力した。

### (4)収益事業

公益事業に資する収益事業として物品販売(CD等)や自動販売機(13台)での収入確保を図った。特に、夏場の猛暑により自動販売機での売上額は昨年より増加した。

## 補足資料

### 1 利用実績

名称	年度	開館日数	全体利用率			時間帯利用率			曜日別利用率	
			予約可能件数(件)	利用件数(件)	利用率(%)	午前(%)	午後(%)	夜間(%)	平日(%)	土・日祝日(%)
大ホール	22	358	865	664	76.8	77.1	83.8	69.6	67.2	91.3
	21	358	866	725	83.7	88.1	90.7	73.2	78.2	92.0
小ホール	22	358	923	819	88.7	86.0	91.2	88.8	86.1	93.1
	21	358	930	840	90.3	87.1	93.4	90.1	87.2	95.4
中目黒GT プラザ ホール	22	359	1003	920	91.7	88.2	92.8	94.1	90.8	93.4
	21	359	1007	946	93.9	91.9	94.7	95.3	93.0	95.7

### 2 利用ジャンル別集計

ジャンル	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒GT プラザホール		全施設合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
コンベンション	119	17.9	75	9.2	391	8.4	148	16.1	733	10.4
クラシック	152	22.9	394	48.1	1,489	32.1	295	32.1	2,330	33.1
ポピュラー	41	6.2	94	11.5	389	8.4	94	10.2	618	8.8
演劇	13	2.0	32	3.9	95	2.0	11	1.2	151	2.1
ミュージカル	24	3.6	5	0.6	25	0.5	1	0.1	55	0.8
舞踊	243	36.6	79	9.6	1,281	27.6	209	22.7	1,812	25.7
伝統芸能	35	5.3	33	4.0	152	3.3	36	3.9	256	3.6
映像	9	1.4	11	1.3	5	0.1	9	1.0	34	0.5
その他	28	4.2	96	11.7	812	17.5	117	12.7	1,053	15.0
合計	664	100	819	100	4,639	100	920	100	7,042	100
合計(21年度)	725	100	840	100	4,884	100	946	100	7,395	100

### 3 利用者別集計

利用者	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒GT プラザホール		合 計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
一般利用 区内	62	9.3	93	11.4	834	17.9	190	20.7	1,179	16.7
一般利用 区外	254	38.3	364	44.4	1,535	33.7	327	35.5	2,480	35.2
芸文登録 団体	59	8.9	156	19.0	1,453	31.3	321	34.9	1,989	28.2
公的団体	49	7.4	14	1.7	67	1.0	3	0.3	133	1.9
財団	166	25.0	151	18.4	508	11.4	15	1.6	840	11.9
目黒区	74	11.1	41	5.0	242	4.7	64	7.0	421	6.0
合 計	664	100	819	100	4,639	100	920	100	7,042	100
合計 (21年度)	725	100	840	100	4,884	100	946	100	7,395	100

### 4 利用者数

月	大ホール			小ホール			リハー サル室 など 諸室	中目黒GT プラザホール			合計
	入場者	関係者	計	入場者	関係者	計	利用者	入場者	関係者	計	
4月	14,973	1,586	16,559	3,755	1,034	4,789	1,936	1,721	829	2,550	25,834
5月	14,678	2,463	17,141	3,055	970	4,025	2,041	1,785	1,058	2,843	26,050
6月	11,487	2,409	13,896	3,868	798	4,666	2,359	2,168	1,032	3,200	24,121
7月	10,839	4,804	15,643	4,478	1,873	6,351	1,935	1,798	1,130	2,928	26,857
8月	15,533	2,592	18,125	2,047	1,120	3,167	2,021	1,735	1,069	2,804	26,117
9月	10,349	1,623	11,972	6,543	1,022	7,565	2,655	1,906	1,312	3,218	25,410
10月	16,437	3,104	19,541	3,890	1,475	5,365	2,111	2,396	939	3,335	30,352
11月	13,961	5,178	19,139	6,688	1,145	7,833	2,128	2,613	806	3,419	32,519
12月	16,900	2,841	19,741	7,081	789	7,870	2,219	2,138	929	3,067	32,897
1月	16,582	1,125	17,707	2,597	685	3,282	1,816	1,913	838	2,751	25,556
2月	13,178	3,903	17,081	6,735	795	7,530	1,957	2,414	560	2,974	29,542
3月	7,303	969	8,272	958	541	1,499	1,087	1,734	500	2,234	13,092
合計	162,220	32,597	194,817	51,695	12,247	63,942	24,265	24,321	11,002	35,323	318,347
21年度	167,960	34,197	202,157	57,387	12,440	69,827	23,883	23,067	12,941	36,008	331,875

5 使用料収納実績

施設名 ※数字は年度		施設使用料	特殊器具使用料	合 計
めぐろパーシモンホール	22	87,524,000	26,254,150	113,778,150
	21	96,524,200	24,921,800	121,446,000
中目黒GTプラザホール	22	9,080,400	1,269,800	10,350,200
	21	9,500,700	1,362,450	10,863,150
合 計	22	96,604,400	27,523,950	124,128,350
	21	106,024,900	26,284,250	132,309,150

6 還付金実績

区分	施設使用料	特殊器具使用料	合計	前年度合計
21年度納付分に対する還付金	4,133,200	0	4,133,200	(20年度)3,125,050
22年度納付分に対する還付金	16,074,437	1,750	16,076,187	(21年度)9,238,611
合 計	20,207,637	1,750	20,209,387	12,363,661

7 施設見学会開催実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
	見学回数	2	1	2	2	1	1	1	3	1	3	2		
参加人数	11	28	44	92	22	20	24	17	12	36	37	20	363	273

## 《 美術館 》

### (1) 自主事業

#### ① 展覧会事業(寄附行為第4条第1号)

##### (ア)「エミール・ガレの生きた時代 -近代生活のエレガンス-」

###### 【展示の概要】

19世紀半ばに生まれたエミール・ガレは、アール・ヌーヴォーという一大潮流を築き上げ、美術の歴史に大きな足跡を残した。本展では、19世紀後半のネオロココ様式から出発したガレが、歴史主義やジャポニズムの影響を受け、ついには植物や虫の形を大胆に取り入れたアール・ヌーヴォー様式に至るまでの軌跡を、黒壁美術館の所蔵作品によって巡った。

会期:4月17日～5月30日(39日間)

会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

入場者数:12,007人

観覧料:一般800(600)円／大高生・65歳以上600(500)円／中小生無料

( )内は20名以上の団体、障がい者とその付添者1名は半額

主催:目黒区美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛:(株)ライオン、(株)清水建設、(株)大日本印刷

協力:黒壁美術館

展覧会監修者:黒壁美術館館長 鈴木 潔

関連催事:

	開催日	催事名	講師・出演者	参加者	会場
1	4月24日	講演会 「エミール・ガレの軌跡」	鈴木 潔(黒壁美術館館長、本展監修者)	59人	ワーク ショップ室
2	5月4日	ギャラリーツアー 「ガレ生誕ナイトツアー」	石崎 尚(担当学芸員)	27人	全 展示室

(参加者 計86人)

##### (イ)「紅心 小堀宗慶展 -創作と審美眼の世界-」

###### 【展示の概要】

総合芸術である茶道を極めたひとりの作家、そしてその目利きとしての小堀宗慶(雅号・紅心)の世界を、自ら制作した作品と厳選した名品とで構成、展覧した。

宗慶のこれまでの美意識に深く関わった、京都孤篷庵の名碗「喜左衛門」(国宝)や「青磁茶碗銘馬蝗絆」(重要文化財)などをはじめとする古美術と、自作の屏風、軸、巻物、工芸などにより、その足跡を明らかにした。

会期:6月5日～7月11日(32日間)

会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ室

入場者数:16, 963人  
 観覧料:一般1000(800)円／大高生・65歳以上800(600)円／中小生無料  
 ( )内は20名以上の団体、障がい者とその付添者1名は半額  
 主催:目黒区美術館、朝日新聞社  
 協力:遠州茶道宗家  
 後援:小堀遠州顕彰会、茶道遠州会  
 助成:芸術文化振興基金  
 関連催事:

	開催日	催事名	講師・出演者	参加者	会場
1	6月13日	講演会 「父紅心小堀宗慶の綺麗さび」	遠州茶道宗家 13 世 小堀宗実 家元	90人	ワーク ショップ室
2	6月19日	ワークショップ 「茶道 こども塾」	遠州茶道宗家 13 世 小堀宗実 家元	39人	ワーク ショップ室
3	展覧会開催中 の土日(最終週 を除く)	「呈茶席」	遠州流の方々	約800人	ワーク ショップ室

(参加者 計929人)

#### (ウ)「遊びのなかの色と形展 ークルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ」

##### 【展示の概要】

2003年の「ペア・クラーセン展」に続く企画展であり、目黒区美術館があつめたトイ・コレクションを柱に、クルト・ネフ(1926-2006)が設立したネフ社が制作した数学的・幾何学的かつデザイン的にすぐれた作品であるトイ、アントニオ・ヴィターリ(1909-2008)による動物や人をモチーフに抽象化された美しいカーブを持つ形のトイ、この2人の「トイに関する仕事」をクローズアップし、実際のトイをとおして2人のデザインエッセンスを紹介した。

会期:7月24日～9月12日(44日間)

会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

入場者数:8, 364人

観覧料:一般700(550)円／大高生・65歳以上550(400)円／中小生無料

( )内は20名以上の団体、障がい者とその付添者1名は半額

主催:目黒区美術館

協力:チューリッヒデザイン美術館、ネフ社、パストリーニ玩具店、(株)アトリエ ニキテキ

後援:スイス大使館

助成:地域創造

関連催事:夏のワークショップ「遊びのなかの色と形ークルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ」  
 については、後述のワークショップ事業に記載



(エ)「鉄を叩く—多和圭三展」

【展示の概要】

鉄を素材に独自の作品を制作し続けてきた多和圭三(1952 年生まれ)。1970 年代後半の初期作から最新作まで、各美術館所蔵作品、文化庁買い上げ作品などをはじめ、代表作を中心に、石・鉛など鉄以外の素材による作品、鉄を叩く以前の作品、野外展に参加した記録写真、ドローイング、制作過程の音と映像をあわせて展示・上映した。目黒区美術館・足利市立美術館、町立久万美術館の三館共同企画として、開催・巡回された。

会期:11月13日～平成23年1月9日(43日間)

会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

入場者数:3, 231人

観覧料:一般700(550)円／大高生・65歳以上550(400)円／中小生無料

( )内は20名以上の団体、障がい者とその付添者1名は半額

主催:目黒区美術館、多和圭三展実行委員会

助成:地域創造(但し、多和圭三展実行委員会経由)

関連催事:

	開催日	催事名	講師・出演者	参加者	会場
1	11月23日 12月11・25日 1月8日	ギャラリーツアー	山田敦雄(担当学芸員)	46人	全 展示室
2	12月12日	講演会 「鉄をつくる—製鉄の今と昔」	永田和宏(工学博士、東京藝術大学教授・東京工業大学名誉教授)	21人	B 展示室
3	12月19日	講演会 「多和圭三と私」	多和 圭三氏	56人	B 展示室
4	12月22・23日	参加型公開制作 「砂鉄を溶かす」	多和 圭三氏	96人	区民センタ ー公園

(参加者 計219人)

②ワークショップ事業(寄附行為第4条第3号)

(ア)夏のワークショップ

「遊びのなかの色と形展—クルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ」に関連し、ネフが制作した玩具などを通じ、「手で考え、手で遊ぶこと」を体験できる講座を開催した。また関連するセミナーも実施した。

	開催日	催事名	講師	参加者
1	7月25日	《トイ・コレクションで遊ぶ》 「Let's enjoy 積み木のパーティ」	榎本 寿紀 (ワークショップ・エデュケーター)	12人
2	8月 6日	《トイ・コレクションで遊ぶ》 「積んで・並べて・組み合わせ 未来の都市計画」	榎本 寿紀 (ワークショップ・エデュケーター)	16人
3	8月20日	《トイ・コレクションで遊ぶ》 「クラークセンのウルトラ積み木で遊ぶ」	榎本 寿紀 (ワークショップ・エデュケーター)	9人
4	8月3・4・10・11・12日	《積み木とトイのガクガクアニメーション》+合同上映会	榎本 寿紀 (ワークショップ・エデュケーター)	30人
5	8月7・8・21日	《遊びの形―手の中の生きもの》	飛山 裕幸(デザイナー)	8人
6	8月22日	《ワークショップセミナー》 「クルト・ネフとの出会い ―フランスのネフさん宅を訪ねて」	小黒 三郎(造形作家)	61人
7	8月29日	《ワークショップセミナー》 「ネフとヴィターリ、デザインと時代 ―スイスとドイツの造形」	向井 周太郎 (武蔵野美術大学名誉教授)	87人
8	8月 1日	《ワークショップセミナー》 「アントニオ・ヴィターリとの出会い ―シャープ社の仕事」	ゲルト・シャーフ (シャープ社代表)	74人
9	8月14・15日	《ファミリーワークショップ》 「手の中の遊びのカタチ」	TVT(トイコレクションボランティアチーム)	30人

(参加者 計327人)

#### (イ) 春のワークショップ

「包むー日本の伝統パッケージ」展に関連し、ワークショップ「つつむ」で4コースを予定していたが、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、震災前に実施した1コース以外は全て中止となった。

	開催日	催事名	講師	参加者
1	2月12日	映画+トークの日「包む」をめぐる	押切 隆世(映画監督)	45人

### ③教育普及事業(寄附行為第4条第3号)

#### (ア)アウトリーチ

トイコレクション(開設時より教材として収集してきた、内外の木を中心とした優れたデザインの積み木やパズル類を使用したアウトリーチ活動として、トイコレクションボランティアチームが区内児童館、学童保育クラブに出向き交流を深めた。

	開催日	開催場所	イベント名	参加者
1	5月15日	区民センター 児童館	スイスイおよげ こいのぼり2	20人
2	6月26日	油面住区 センター児童館	○△□、街の建築家になろう!	25人
3	12月4日	区民センター 児童館	パッパ ずるずる パズルの日	69人

(参加者 計114人)

#### (イ)ギャラリーツアー(参加者総数 549名)

観賞力及び公共心の育成を目的として、展覧会に併せて小学校の学年単位でギャラリーツアーを受け入れた。実施にあたり児童10名程度のグループに美術館スタッフが付いて一緒に展覧会会場を廻るツアー形式のギャラリーツアーを開催した。

##### 【エミール・ガレの生きた時代展】

	開催日	学校名・学年	参加者
1	4月30日	目黒区立油面小学校6年生	67人

##### 【遊びのなかの色と形展】

	開催日	学校名・学年	参加者
1	8月26日	目黒区立下目黒小学校1年生	45人
2	8月27日	目黒区立菅刈小学校6年生	45人
3	9月 1日	目黒区立下目黒小学校3年生	51人
4	9月 3日	港区立港南小学校4年生	110人
5	9月 8日	目黒区立下目黒小学校2年生	31人
6	9月 9日	目黒区立中根小学校3年生	76人
7	9月10日	目黒区立向原小学校2年生	34人

(参加者 計392人)

【鉄を叩く—多和圭三展】

	開催日	学校名・学年	参加者
1	12月10日	目黒区立向原小学校6年生	47人

【包む—日本の伝統パッケージ展】

	開催日	学校名・学年	参加者
1	2月24日	目黒区立上目黒小学校5年生	43人

\*めぐろの子どもたち展のギャラリーツアーは省略。

(ウ) 庁舎ツアー

2004年の「建築家 村野藤吾のディテール展」に端を発し、設定コースや実施方法などに改良を加えながら回数を重ね、2010年(平成22年度)で7回目を迎えた目黒区総合庁舎の建築ガイドツアー。当館ボランティア会「建築班」メンバーによる解説で、毎回好評を博しているこのツアーは、22年度も4コース全て定員を超える人気ぶりであった。

実施コースの内容としては以下のとおり。

- A 通常コース(はじめての方むけ。庁舎全体をまんべんなくまわるコース)
- B コンバージョンコース(千代田生命から公共施設へ変更した事に着目したコース。)
- C 和室集中コース(和室に特に時間を割いたコース。)
- D 子ども組コース(小中学生を対象にしたコース。家族参加可能)

	開催日	参加者
1	4月23日	69人
2	4月30日	31人
3	5月8日	82人
4	5月16日	86人

(参加者 計268人)

\* 建築ガイドツアー参加者用プレセミナー実施(4月2日)。参加者50人。

(エ) アートウィーク

めぐろアートウィークにおいて「建築」に視点をあてた「建築めぐり塾」を実施した。目黒周辺の街並みや歴史のある建築、現代の建築を当館ボランティア会「建築班」のメンバーが解説案内す

る内容であり、アートウイーク事業としては3年目。毎年定員を超える人気ぶりであり、22年度は①東京大学駒場キャンパス・日本民藝館コース、②旧前田侯爵邸コースを企画した。②については、昨年と同様のコースではあるが、目黒区文化ホールと連携して新たに洋館サロンコンサートをとりいれた。

#### 【目黒建築めぐり塾Ⅳ】

	開催日	開催コース	参加者
1	3月5日	旧前田侯爵邸コース【洋館サロンコンサート】	31名
2	3月11日	東京大学駒場キャンパス・日本民藝館コース	24名

#### (オ)その他

2007年に三鷹天命反転住宅で「からだのワークショップⅢ」を実施した縁で、三鷹天命反転住宅を舞台にしたドキュメンタリー映画を上映。映画上映後に山岡信貴監督によるアフタートークを実施した。

参加料:一般1,500円／大高生・65歳以上1,000円／中小生500円

会場:目黒区美術館 A 展示室内

	開催日	映画タイトル	参加者
1	11月19日	死なない子供、荒川修作	49名
2	11月20日	同上	56名

#### ④学芸員実習の受け入れ

各大学の依頼により、14名の学生に対し学芸員資格取得に必要な学芸員実習を実施した。

#### ⑤広報事業等

##### (ア)広報事業

展覧会及びW・S等について、ポスター、チラシを作成・配布したほか、21年度末にリニューアルしたホームページの本格運用をはかった。

マスメディア等に対してプレスリリースを積極的に行った。その結果、各展覧会等についてテレビ、新聞、雑誌等で報道された。

「エミール・ガレの生きた時代—近代生活のエレガンス」では美術館連絡協議会との共催事業として、読売新聞社の共催を得た。

「紅心 小堀宗慶展—創作と審美眼の世界」では、朝日新聞社との共催、また茶道団体の協力を得た。

「鉄を叩く—多和圭三展」では、新聞広告の掲載を行った。

「包む—日本の伝統パッケージ展」では、東京都庭園美術館との相互割引制度を実施し、入館者の増を図った。

「リバーサイド・フェスティバル」(商工まつり)に協賛し、会場に美術館ブースを出展した。

【展覧会広報実績】

展覧会名	有料広告	展覧会放送・掲載誌等
エミール・ガレ展		読売1紙 雑誌等4誌
紅心 小堀宗慶展		朝日4回、他2紙 雑誌4誌
ネフ&ヴィターリ展		NHK日曜美術館、歌うコンセルジュ 朝日他3紙、雑誌10数誌
多和圭三展	新聞広告 (読売)	日経他4紙
目黒の子どもたち展	バス吊り広告 (東急バス)	
日本の伝統パッケージ展		MXテレビニュース、BS 朝日他3紙、雑誌20数誌

\* 当館で把握した範囲で記載

(イ) 共通入館券「ぐるっとパス」事業

都内の美術館・博物館等の普及活動、新たな需要の開拓、新たな観光資源を目的とした「東京の美術館・博物館共通入館券実行委員会」に参加した。実行委員会は、参加館の負担金、事業収入等により共通入館券の発行、ポスター・パンフレットの作成、その他広報を行う。共通入館券の販売及び入館料収入、並びに各館の負担金額は年度末に精算される。22年度は、21年度継続事業であるベルナール・ビュフェ展とエミール・ガレ展において、販売数が伸び、例年になく売上数があった。

【実施実績】

年 度	参加館	共通入館券売上冊数	共通入館券による入館者数
22年度	70館	348冊 (41, 521冊)	4, 215人 (242, 420人)
21年度	66館	160冊 (41, 410冊)	3, 550人 (261, 034人)

\* 上段は目黒区美術館、( )内は参加全体数

⑥調査普及事業

美術作品の調査研究に必要な図書を8冊購入(定期購読の雑誌を除く)した。  
全国の美術館等から図録等の美術関連資料を約400冊寄贈を受けた。  
トイコレクションの充実を図るため、クルト・ネフのトイ1件を購入した。  
ワークショップ等を記録するため撮影を行った。

## ⑦ボランティアの育成

当館ボランティア会の会員に対して、毎月、会報を発行し、美術館及びボランティア相互の交流を図った。また毎月、幹事会を開催し意見交換した。

ボランティアの募集については目黒区ボランティアセンターに登録したほか、館内にも掲示し勧誘した結果、10人が新たに加入した。

ボランティア会会員を対象として他の美術館の見学会を開催するなどの取り組みや、建築班に対しては専門家による研修を実施した。

## ⑧研修

学芸員としての専門性を高めるため、文化庁主催の研修等を受講した。(修復等)  
広報等、発信力を高めるため外部研修を受講した。  
新規採用職員に対しOJTの他、管理者による個別研修を実施した。

## ⑨美術関係団体への加盟

現在、日本博物館協会、全国美術館会議、東京博物館協会、美術館連絡協議会に加盟している。

## (2) 受託事業(寄附行為第4条第5号)

### ① 展覧会事業

#### (ア) 所蔵作品展 「包むー日本の伝統パッケージ」展

##### 【展示の概要】

岡秀行氏(1905ー1995、グラフィック・デザイナー)から目黒区美術館が譲り受けた「日本の伝統パッケージ」コレクションを紹介した。岡氏は写真集『日本の伝統パッケージ』『包 TSUTSUMU』などを著すとともに、1970～80年代にかけて、展覧会「TSUTSUMU」として、そのコレクションを世界 20 数カ国・100 カ所以上で紹介し、高い評価を受けた。本展ではわが国の自然と風土を生かした素材で作られ、生活の知恵と機能美が加わったシンプルな美しさを持つパッケージ(包装・容器)の数々を岡氏の視点を交えながら展覧した。

会期:2月10日～4月3日(46日間)

会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

入場者数:7,147人

観覧料:一般700(550)円／大高生・65歳以上550(400)円／中小生無料

( )内は20名以上の団体、障がい者とその付添者1名は半額

主催:目黒区美術館

協力:(株)プローブ、パナソニック株式会社AVCネットワークス社、(株)ピコハウス

関連催事:春のワークショップ「つつむ」については、既述のワークショップ事業に記載

## (イ)「めぐろの子どもたち展」

### 【展示の概要】

目黒区立の幼稚園、小学校、中学校の子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見した驚きや、美しいものを自己のものにしたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介した。また、「米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展」と「北京市東城区(旧崇文区)の児童・生徒書画展」を区民ギャラリーで同時開催した。

会期:1月15日～1月30日(14日間)

会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ室、  
区民ギャラリー

入場者数:11,012人

観覧料:無料

主催:目黒区幼稚園長会、目黒区小学校長会、目黒区中学校長会、目黒区特別支援学級設置校長会、目黒区教育会、目黒区教育委員会、目黒区美術館

## ②作品の保管・活用

教育委員会の依頼に基づき、教育委員会が購入等する美術作品の候補作品を調査、報告した。また、当該作品に関し、教育委員会の収集委員会の開催に協力した。

高島野十郎などの所蔵作品6点について専門機関に委託し修復を行ったほか、新たに所蔵することになった購入作品3点、寄贈作品36点等の撮影を行った。

購入	寄贈	寄託	所管替え
3点	34件(39点)	1件	1件

所蔵作品及び関連資料は、所蔵作品展で展示したほか、「遊びのなかの色と形—クルト・ネニオ・ヴィターリ展」でトイコレクションを活用した。

また、東山魁夷などの作品を他館へ貸出を行い他館の展覧会の開催に協力した。

### ・所蔵品の展示数

遊びのなかの色と形展 153点

日本の伝統パッケージ展 313点

### ・作品の貸出実績

貸出先	作家名	作品名・点数
小松市立宮本三郎美術館	森田 元子	「婦人」・1点
同上	高野 三三男	「赤と黒のエチュード」・1点
群馬県立館林美術館	—	画材と素材の博物館 (引き出しケース2個 素材の引き出し:29セット)
セキ美術館	古守田 守介	「裸婦(一)」ほか10点
市川市東山魁夷記念館	東山 魁夷	樹根
香川県立東山魁夷 せとうち美術館	〃	〃



名古屋市美術館	村上 友晴	PSALM1 8点組
あさご芸術の森美術館	木下 晋	「《無》I」ほか3点
中京大学アートギャラリーC・スクエア	篠田 教夫	「海辺の断崖II」・1点
熊本市現代美術館	木下 晋	「《無II》」・1点
ふくやま美術館	藤田嗣治	殉教者

### ③区民ギャラリーの貸出

区民ギャラリーの貸出に関する業務を行った。また、従来よりギャラリー利用者からの要望等に応えるべく簡単な利用調査を実施していたが、22年度は利用者アンケートとして内容を充実させ、利用しやすい区民ギャラリーの運営に努めた。

#### 【利用実績】

年 度	回 数	日 数	使用料収納実績	入場者数
22年度	延べ66回	延べ426日	4,991,000円	延べ31,328人
21年度	延べ53回	延べ349日	4,253,200円	延べ15,931人

- ・回数等は半面貸出も1回として、延べ数で示した。
- ・展覧会事業(区指定管理事業)として、本館とギャラリーを同時に使用した「めぐろの子どもたち展」は除いた。
- ・使用料については、当該年度及び次年度実施利用分が含まれるが、収納日の年度とした。

### ④その他

#### (ア)芸術文化活動団体等や学校教育への協力・支援

##### ア 区展への協力

区展実行委員会に対し、展示等について協力した。

##### イ 区内美術4団体への協力

共催事業として、区民ギャラリーを活用して各団体の展覧会を開催した。美術館として広報の協力もした。

##### ウ 学校への協力

区立中学校の職場訪問、職場体験に協力した。

##### エ 視察の受け入れ

他自治体、美術館の視察に協力した。

## (イ)館内外の整備

区民センター敷地内などに設置してある美術館案内表示板及びポスター掲示等を整備した。

収蔵庫扉の不具合の改善及び収蔵庫内に自動温湿度計を設置した。

JR目黒駅有料広告版をリニューアルした。区民ギャラリーの全展示台を補修した。

## (ウ)危機管理体制

エミール・ガレ展の事故を契機に、美術作品の搬入・搬出時の「マニュアル」を整備したほか、小堀宗慶展では、国宝等の展示に対応した展示管理計画書を作成し、事故の防止に努めた。

目黒区美術館消防計画に従い、目黒消防署の指導を得て、職員・監視員参加の避難訓練を実施した。

東日本大震災を契機に、震災対策を見直した。

## (3)収益事業(寄附行為第4条第6号)

### 物販販売(ミュージアムショップ、ラウンジ運営)

各展覧会に関連した書籍やグッズなどを受託商品として販売し、売上が増収になった。

そのほか、展覧会図録については1年を通してホームページ上から簡単に申込が可能な通信販売も実施しており(電話、Fax申込も可)、遠隔地のお客様からは大変好評であった。

また、目黒区美術館ボランティア会「ラウンジ班」メンバーによって運営されている喫茶店の営業についても大変好評で、「遊びのなかの色と形展」においては、開催時期が夏だったことや子どもの夏休み期間と重なっていたこともあり、通常メニューに加えてアイスクリームを提供し、会期終了前に売り切れとなった。

## 平成22年度 展覧会事業実施状況

区 分		エミール・ガレ展	小堀宗慶展	ネフ・ヴィタ展	多和圭三展	子どもたち展	包む展	計
会 期	期間	H22.4.17～5.30	H22.6.5～7.11	H22.7.24～9.12	H22.11.13～1.9	H23.1.15～1.30	H23.2.10～4.3	
	日数	39	32	44	43	14	46	218
入館者数(人)		12,007	16,963	8,364	3,231	11,012	7,147	58,724
有料		4,379	3,074	4,095	1,152	0	5,006	17,706
一般(下記以外)		3,001	1,906	3,331	822	0	3,851	12,911
高校・大学・高齢者		1,378	1,168	764	330	0	1,155	4,795
無料		7,628	13,889	4,269	2,079	11,012	2,141	41,018
招待券		6,045	12,789	1,448	1,111	0	1,151	22,544
ぐるっとパス		1,218	751	761	567	0	733	4,030
幼児・小・中学生		167	131	1,513	70	0	182	2,063
小学生ギャラリートツアー		67	0	392	47	2,637	43	3,186
その他		131	218	155	284	8,375	32	9,195
入館者割合(%)								
有料		36.5	18.1	49.0	35.7	0.0	70.0	30.2
無料		63.5	81.9	51.0	64.3	100.0	30.0	69.8
1日当たり入館者数(人)		308	530	190	75	787	155	269
入館料収入(円)		3,149,300	2,792,200	2,715,660	745,100	0	3,264,800	12,667,060
備 考		読売新聞社 美連協	朝日新聞社 遠州流		町立久万美術館 足利市立美術館巡回	区立幼、小・中 児童生徒作品	所蔵作品展 23年度に継続	

### 展覧会入館者数等の推移

区分		平成22年度	平成21年度	前年度比較	
展覧会事業	事業数	6	5	1	
	開館日数	218	209	9	
	入館者数 (人)	有料	17,706	17,728	△ 22
		無料	41,018	22,917	18,101
		合計	58,724	40,645	18,079
	入館料(円)		12,667,060	11,646,100	1,020,960
教育普及事業	ワークショップ活動	開催数(回)	19	15	4
		参加者数(人)	1,533	629	904
	ギャラリーツアー	開催数(回)	15	27	△ 12
		参加者数(人)	622	1,296	△ 674
	トイコレクション アウトリーチ	開催数(回)	3	3	0
		参加者数(人)	114	133	△ 19
	庁舎建築ガイド ツアー	開催数(回)	4	4	0
		参加者数(人)	268	245	23
	合計	開催数(回)	41	49	△ 8
		参加者数(人)	2,537	2,303	234

注1 上記数値は、注2に記載したもの以外は、毎年度4月1日から翌年3月31日までの間の数値である。

注2 上記数値のうち、平成23年度への継続事業分については数値を含んだ。  
(包むー日本の伝統パッケージ展は平成23年4月3日まで開催。)

注3 上記数値のなかに「めぐろアートウィーク」の参加人数は含まない。

## 2 処務の概要

### (1) 重要な契約の概要

契約名	契約年月日	契約の相手方	契約要旨
目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書	平成 21 年 3 月 31 日	目黒区教育長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区文化ホール条例第 4 条に規定する事業に関する業務 (2) 施設の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務  2 契約期間 平成 21 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで
目黒区文化ホールの管理の業務に係る個人情報取扱覚書	平成 21 年 3 月 31 日	目黒区教育長	目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書第 17 条(個人情報の保護)に基づき締結する
目黒区文化ホールの管理に関する年度協定書	平成 22 年 3 月 31 日	目黒区教育長	目黒区文化ホールの管理の業務の各年度の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費を定める
目黒区美術館の管理に関する基本協定書	平成 21 年 3 月 31 日	目黒区教育長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区美術館条例第 3 条に規定する事業に関する業務 (2) 施設の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務  2 契約期間 平成 21 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで
目黒区美術館の管理の業務に係る個人情報取扱覚書	平成 21 年 3 月 31 日	目黒区教育長	目黒区美術館の管理に関する基本協定書第 17 条(個人情報の保護)に基づき締結する
目黒区美術館の管理に関する年度協定書	平成 22 年 3 月 31 日	目黒区教育長	目黒区美術館の管理の業務の各年度の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費を定める

(2) 財団運営会議開催状況

回数	開催年月日	議 題
第1回	平成 22 年 5 月 25 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 21 年度事業報告及び収支決算(案)について</li> <li>2 平成 22 年度収支予算の組替え(案)について</li> <li>3 評議員の辞職に伴う選出について (区立小中学校教員2名)</li> <li>4 公益財団法人移行認定申請の概要について (定款案の変更含む)</li> <li>5 (仮称)公益財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員の選定結果について</li> <li>6 目黒区文化ホール及び目黒区美術館における平成21年度事業報告書について</li> <li>7 「エミール・ガレの生きた時代」展に係る借用作品破損事故について(報告)</li> </ol>
第2回	平成 22 年 8 月 24 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 23 年度目黒区文化ホール事業計画(素案)</li> <li>2 平成 23 年度目黒区美術館事業計画(素案)</li> </ol>
第3回	平成 22 年 9 月 1 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「芸術文化・スポーツ行政の区長部局移行に向けた執行部体制整備の考え方(案)」に対する当財団の意見について</li> <li>2 公益財団法人への移行認定申請の概要等について</li> <li>3 公益財団法人への移行認定申請に係るスケジュールについて</li> <li>4 平成 23 年度予算編成について</li> </ol>
第4回	平成 22 年 9 月 28 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 22 年度各会計補正予算(1号)について</li> <li>2 平成 23 年度各会計予算要求(対教育委員会)について</li> <li>3 公益財団法人への移行認定申請の概要等について</li> </ol>
第5回	平成 23 年 2 月 1 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 23 年度財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画(案)</li> <li>2 平成 23 年度財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算(案)</li> <li>3 電子公告を実施するウェブサイトのアドレス</li> <li>4 財団法人目黒区芸術文化振興財団給与規程の一部改正(専決処分の承認)について</li> <li>5 評議員の交代について</li> <li>6 公益財団法人への移行認定申請の結果等について</li> <li>7 芸術文化行政の区長部局への移行について</li> <li>8 目黒区文化ホール及び目黒区美術館からの報告事項</li> </ol>

### (3) 理事会・評議員会開催状況

#### ① 理事会

回数	開催等年月日	議案番号等	件名
第1回	平成 22 年 6 月 16 日	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 21 年度財団法人目黒区芸術文化振興財団事業報告及び収支決算(案)</li> <li>・平成 22 年度財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算の組替え(案)</li> <li>・財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員の補充選出(案)</li> </ul>
		報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人移行認定申請の概要について</li> <li>・(仮称)公益財団法人目黒区芸術文化振興財団役員予定者について(案)</li> <li>・(仮称)公益財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員の選定結果について</li> <li>・目黒区文化ホール及び目黒区美術館における平成 21 年度事業報告書について</li> <li>・「エミール・ガレの生きた時代」展に係る借用作品破損事故について</li> <li>・目黒区文化ホール及び目黒区美術館からの報告事項について</li> </ul>
第2回	平成 22 年 10 月 15 日	議案第 4 号 議案第 5 号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人に係る定款の変更(案)</li> <li>・平成 22 年度財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算(案)</li> </ul>
		報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人への移行認定申請の概要について</li> <li>・平成 23 年度目黒区文化ホール事業計画(素案)</li> <li>・平成 23 年度目黒区美術館事業計画(素案)</li> <li>・目黒区文化ホール及び目黒区美術館からの報告事項について</li> </ul>
書面 表決	平成 23 年 1 月 28 日	議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員の選出について</li> </ul>

第3回	平成 23 年 2 月 17 日	議案第 6 号	・平成 23 年度財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画(案)
		議案第 7 号	・平成 23 年度財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算(案)
		議案第 8 号	・電子公告を実施するウェブサイトのアドレス
		議案第 9 号	・財団法人目黒区芸術文化振興財団給与規程の一部改正(専決処分の承認)について
		報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の補充選出について</li> <li>・公益財団法人への移行認定申請の結果等について</li> <li>・芸術文化行政の区長部局への移行について</li> <li>・目黒区文化ホール及び目黒区美術館からの報告事項</li> </ul>
書面 表決	平成 23 年 3 月 22 日	議題	・「原爆を視る」展の開催中止について



②評議員会

回数	開催年月日	番号	件名
第1回	平成22年4月5日	議案第1号 議案第2号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人移行に伴う最初の評議員選定委員会委員の選任について(案)</li> <li>・(仮称)公益財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員候補者の推薦について(案)</li> </ul>
		報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事及び監事候補者について(案)</li> <li>・評議員及び理事・監事の報酬について</li> <li>・公益目的事業等について</li> </ul>
第2回	平成22年6月9日	諮問第1号 諮問第2号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度財団法人目黒区芸術文化振興財団事業報告及び収支決算(案)</li> <li>・平成22年度財団法人目黒区芸術文化振興財団予算の組替え(案)</li> </ul>
		報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人移行認定申請の概要について</li> <li>・(仮称)公益財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員の選定結果について</li> <li>・「エミール・ガレの生きた時代」展に係る借用作品破損事故について</li> <li>・目黒区文化ホール及び目黒区美術館からの報告事項について</li> </ul>
第3回	平成22年10月12日	議案第3号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人移行に係る定款の変更(案)について</li> </ul>
		諮問第3号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算(案)</li> </ul>
		報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人への移行認定申請の概要について</li> <li>・平成23年度目黒区文化ホール事業計画(素案)</li> <li>・平成23年度目黒区美術館事業計画(素案)</li> <li>・目黒区文化ホール及び美術館からの報告事項</li> </ul>
第4回	平成23年2月14日	諮問第4号 諮問第5号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画(案)</li> <li>・平成23年度財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算(案)</li> </ul>
		報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人への移行認定申請の結果等について</li> <li>・芸術文化行政の区長部局への移行について</li> <li>・目黒区文化ホール及び目黒区美術館からの報告事項</li> </ul>

#### (4)理事・監事名簿

##### ①理事

(順不同)

役職	氏名	備考
理事長	清水 美知雄	東京商工会議所目黒支部副支部長
副理事長	台座 惇人	東京経営診断士会副理事長
常務理事	齋藤 薫	(財)目黒区芸術文化振興財団事務局長
理事	朝倉 健吾	代官山ヒルサイドテラス運営
〃	井上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
〃	柄澤 立子	環境造形学園名誉学園長
〃	給田 英哉	国際教養大学理事・教授
〃	田中 晴久	目黒区美術館館長
〃	引地 良一	株式会社亀屋万年堂代表取締役会長
〃	渡部 弘	パーシモンホール館長

(平成23年3月31日現在)

##### ②監事

(順不同)

役職	氏名	備考
監事	石原 一郎	税理士
〃	安田 直史	行政経験者

(平成23年3月31日現在)

## (5) 評議員名簿

(順不同)

役職	氏名	備考
評議員	佐藤 昇	目黒区議会議員
〃	鴨志田 リエ	目黒区議会議員
〃	星見 てい子	目黒区議会議員
〃	梅原 辰郎	目黒区議会議員
〃	新井 篤美	早稲田大学招聘研究員
〃	井上 久美子	世界ハープ会議副会長・武蔵野音楽大学特任教授
〃	今中 美耶子	弁護士
〃	赤沼 保江	目黒区立第十中学校長
〃	鹿海 治	目黒区立宮前小学校
〃	勝村 次郎介	住区住民会議連絡協議会南部地区委員 (向原住区住民会議会長)
〃	橘田 恵美子	目黒区クラシック音楽家協会副会長 (洗足学園音楽大学名誉教授)
〃	後藤 美代子	元徳島文理大学教授・アナウンサー
〃	田淵 保夫	目黒区書作家協会会長
〃	中屋 早紀子	声楽家(聖徳大学音楽文化学科非常勤講師)
〃	永井 廣司	中目黒GT全体管理組合理事長
〃	牧野 雅子	童謡の里めぐろ保存会
〃	真室 佳武	東京都美術館長
〃	村田 千穂	目黒区労働組合総連合常任幹事
〃	望月 昇	目黒区文化団体連合会副会長
〃	安河内敦子	造形作家
〃	安原 喜孝	陶芸家(筑波大学名誉教授)
〃	渡辺 俊介	日本経済新聞社論説委員

(平成23年3月31日現在)